

青年国際交流事業に参加しませんか

内閣府では、日本と世界各国の青年との交流を通して相互理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を身に付けた次代を担うにふさわしい青年を育成するため、青年国際交流事業を実施しています。

青年の皆さんが、この事業に積極的に参加し、その経験をいかして地域・職域・学校または青少年団体等において国際交流活動・青少年活動等を活発に行い、社会に貢献されることを期待しています。

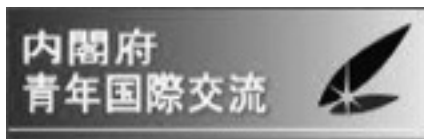
現在、平成24年度に実施する「国際青年育成交流」(9月)、「日本・中国青年親善交流」(9月)、「日本・韓国青年親善交流」(9月)、「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」(10月)、「東南アジア青年の船」(10～12月)、「世界青年の船」(平成25年1～3月)の参加青年を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせください。

◎問い合わせ先

内閣府青年国際交流 ☎03-3581-1181

HP <http://www.cao.go.jp/koryu/>

または、北海道総合政策部知事室国際課国際交流グループ ☎011-231-4111



屋根からの落氷雪による事故を防ぎましょう

毎年、冬になると屋根に積もった雪・氷・つららが落ちて、歩行者がけがをしたり死亡する事故が、しばしば起こっています。皆さんも、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが、冬期間の通行を円滑にし、事故を無くすため、次のことに注意するようお願いいたします。

- ◆屋根の雪・氷・つらが道路に落ちる建物には、これに伴う事故を避けるための雪止めをつけるようにしてください。
- ◆雪止めがつけてあっても強さが足りなかったり、針金等が古くなり切れて落ちることもあるので、必ず点検して悪いところがあれば早めに修繕してください。
- ◆屋根の雪・氷・つらは、気温が上昇したとき、特にマイナス3度からプラス3度の間では落ちやすい状態となるため、早めに落とすようにし、落とすときは歩行者や遊んでいる子ども等に充分注意するようにしてください。
- ◆屋根から大量の雪が落ちたときは、直ちに事故がないかどうか確かめるとともに、歩行者の通行への影響を避けるため、速やかに処理してください。
- ◆交通事故・交通障害防止のため、屋根からの落氷雪や敷地内の積雪を道路に出さないでください。
- ◆軒下を通行するときは落氷雪に充分注意し、軒下や道路では子どもを絶対に遊ばせないようにしてください。

留 萌 開 発 建 設 部
留 萌 振 興 局
留 萌 警 察 署
小 平 町

気象台一ロメモ「ラジオゾンデによる観測」

ラジオゾンデによる観測は、「radio(ラジオ)：無線」と「sonde(ゾンデ)：探索する」の合成語で、「無線を利用して探るもの」という意味があり、気圧・気温・温度等の各センサー及び観測データを送信する無線発信機をゴム気球につけて上昇させ、高度約30Km付近までの大気の状態を観測します。

また、気球の位置を追跡することで上空の風を観測します。

この観測は、全国16か所の気象官署(道内では札幌・釧路・稚内)や昭和基地(南極)、海洋気象観測船で通常1日に2回(9時・21時)実施され、観測データは天気予報や防災業務に、また気候変動・地球環境の監視、航空機の運航管理等に利用されます。

【気象庁のラジオゾンデや気球を発見した場合】

観測を終えたラジオゾンデは、パラシュートによってゆっくりと降下させ、建物等にぶつかっても危険・被害を最小限にとどめるようになっています。

気象庁で使用している気象観測器には、「気象庁」と書いてあり、対処方法・連絡先等を記入したものが貼っていますので、「気象庁」と書いてあるものは、お手数ですがラベルに表示されている連絡先までお知らせ願います。



◎問い合わせ先
旭川地方気象台総務課
☎0166-32-7101